

平成22年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 グローバルダイニング

コード番号 7625 URL <http://global-dining.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 耕造

問合せ先責任者 (役職名) 取締役最高財務責任者兼経営管理本部長 (氏名) 添田 裕一郎

TEL 03-5469-3223

四半期報告書提出予定日 平成22年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第3四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第3四半期	10,243	△8.9	△143	—	△194	—	△675	—
21年12月期第3四半期	11,247	—	54	—	136	—	12	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第3四半期	△67.26	—
21年12月期第3四半期	1.37	1.36

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第3四半期	8,545	4,408	51.0	433.99
21年12月期	10,192	5,201	50.7	514.89

(参考) 自己資本 22年12月期第3四半期 4,359百万円 21年12月期 5,171百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年12月期	—	0.00	—		
22年12月期(予想)				0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,814	△8.5	△199	—	△249	—	△748	—	△74.45

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 _____）、除外 一社（社名 _____）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	22年12月期3Q	10,052,600株	21年12月期	10,052,600株
② 期末自己株式数	22年12月期3Q	7,950株	21年12月期	7,855株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	22年12月期3Q	10,044,732株	21年12月期3Q	9,456,627株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部の企業に業績回復の兆しがみられるものの、急速な円高の進行や株式市場の低迷に伴う景気や雇用環境の悪化懸念などから、個人消費は依然として低迷基調のまま推移いたしました。

外食業界におきましても、消費者の節約志向や低価格志向は依然として強く、厳しい状況が続いております。

こうしたなか、当社グループは、役員報酬の減額及び従業員の賃金減額、また、不動産オーナー様との賃料減額交渉等、コスト削減並びに営業力の強化による業績の向上に努めてまいりましたが、経営資源の効率的運用及び収支改善を図るため、収益改善の見込めない「モンズーンカフェ南青山」、「デカダンスデュ ショコラ “トゥレジュール”」、「表参道シュークリング Echika池袋」の3店舗を閉店いたしました。また、連結子会社であるグローバルダイニング マカオ リミテッドにつきまして、世界的な金融恐慌による個人消費の低迷や他社との競争により、今後の業績回復が困難と判断するにいたり、6月9日付の取締役会にて解散の決議を行い、8月31日をもって清算手続を完了いたしました。

一方で、7月に東京都文京区の茗荷谷ファクトリーに直販スペース「デカダンスデュ ショコラ茗荷谷ファクトリー」を開設いたしました。

以上により、当第3四半期連結累計期間末の総店舗数は65店舗となりました。

当第3四半期連結累計期間における売上高は、102億43百万円（前年同期比8.9%減）となりました。売上高をコンセプト（営業形態）別にみると「ラ・ボエム」は29億80百万円（同10.4%減）、「ゼスト」は10億22百万円（同10.9%減）、「モンズーンカフェ」は24億27百万円（同9.3%減）、「権八」は20億83百万円（同0.9%減）、「ディナーレストラン」は6億41百万円（同2.8%減）、「フードコロシウム」は6億44百万円（同23.3%減）、「その他」は4億43百万円（同11.0%減）となりました。既存店売上高につきましては、前年同期比10.4%の減収となりました。

損益につきましては、営業損失1億43百万円（前年同期は営業利益54百万円）、経常損失は1億94百万円（前年同期は経常利益1億36百万円）、四半期純損失は、繰延税金資産の取り崩しを行ったこと等により、6億75百万円（前年同期は四半期純利益12百万円）となりました。

なお、前年同期比につきましては、参考として記載しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して16億47百万円減少し、85億45百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末と比較して5億16百万円減少し、10億43百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金が3億65百万円、売掛金が87百万円、原材料及び貯蔵品が42百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末と比較して11億31百万円減少し、75億1百万円となりました。主な変動要因は、建物及び構築物が5億96百万円、工具、器具及び備品が99百万円それぞれ減少したことに加え、当期の業績見通しを踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産2億53百万円を取り崩したことによるものであります。

流動負債は前連結会計年度末と比較して3億55百万円減少し、27億42百万円となりました。主な変動要因は、短期借入金が増加した一方で、1年内返済予定の長期借入金1億94百万円、買掛金1億32百万円、未払費用62百万円、未払法人税等61百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末と比較して4億98百万円減少し、13億94百万円となりました。主な変動要因は、長期借入金が増加したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比較して7億93百万円減少し、44億8百万円となりました。主な変動要因は、利益剰余金が6億75百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金および現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して3億15百万円減少し、2億77百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税金等調整前四半期純損失4億37百万円、減価償却費3億92百万円、事業整理損1億77百万円、売上債

権の減少86百万円、たな卸資産の減少40百万円、法人税等の納付64百万円などにより、営業活動の結果得られた資金は92百万円（前年同期は2億63百万円の収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

有形固定資産の取得による支出37百万円、定期預金への預入による支出10百万円、定期預金の払戻による収入60百万円、事業譲渡による収入1億31百万円、保証金の回収による収入44百万円などにより、投資活動の結果得られた資金は1億88百万円（前年同期は98百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

短期借入金98百万円増加、長期借入金の純減6億88百万円などにより、財務活動の結果支出した資金は5億94百万円（前年同期は2億85百万円の支出）となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成22年12月期の連結業績予想につきましては、売上高138億14百万円、営業損失1億99百万円、経常損失2億49百万円、当期純損失7億48百万円を見込んでおります。

なおこの予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、異なる場合があります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

①固定資産の減価償却費の算定方法は、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却の額を期間按分して算定する方法によっております。

②繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前連結会計年度以降に経営環境に著しい変化があるか、又は、一時差異等の発生の状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

(特有の会計処理)

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	277,361	642,432
受取手形及び売掛金	334,805	422,456
原材料及び貯蔵品	188,484	230,499
前払費用	125,715	145,068
繰延税金資産	69,003	37,087
その他	48,177	82,097
流動資産合計	1,043,548	1,559,642
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,370,962	10,963,356
減価償却累計額	△6,188,638	△6,100,313
減損損失累計額	△1,581,253	△1,665,406
建物及び構築物 (純額)	2,601,070	3,197,636
車両運搬具	9,635	10,271
減価償却累計額	△9,485	△10,085
車両運搬具 (純額)	150	185
工具、器具及び備品	1,984,884	2,072,648
減価償却累計額	△1,673,805	△1,655,949
減損損失累計額	△87,340	△92,970
工具、器具及び備品 (純額)	223,739	323,729
土地	2,874,567	2,969,618
リース資産	25,528	25,528
減価償却累計額	△5,714	△1,885
リース資産 (純額)	19,814	23,643
建設仮勘定	9,021	735
有形固定資産合計	5,728,363	6,515,548
無形固定資産		
ソフトウェア	42,108	62,971
電話加入権	10,575	10,575
その他	460	521
無形固定資産合計	53,143	74,067
投資その他の資産		
投資有価証券	7,476	8,687
長期前払費用	35,148	37,749
繰延税金資産	—	253,257
差入保証金	1,677,467	1,743,505
投資その他の資産合計	1,720,093	2,043,199
固定資産合計	7,501,600	8,632,816
資産合計	8,545,148	10,192,458

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	458,688	591,419
短期借入金	610,000	512,000
1年内返済予定の長期借入金	826,834	1,021,384
リース債務	5,361	5,361
未払金	130,690	162,994
未払費用	563,426	625,845
未払法人税等	12,789	73,989
未払消費税等	27,786	65,410
店舗閉鎖損失引当金	2,896	—
その他	103,859	38,930
流動負債合計	2,742,333	3,097,336
固定負債		
長期借入金	1,332,295	1,825,898
リース債務	15,890	19,911
退職給付引当金	25,115	29,349
店舗閉鎖損失引当金	19,500	18,000
その他	1,528	—
固定負債合計	1,394,330	1,893,158
負債合計	4,136,663	4,990,494
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,472,118	1,472,118
資本剰余金	2,127,118	2,127,118
利益剰余金	1,250,020	1,925,666
自己株式	△9,710	△9,692
株主資本合計	4,839,547	5,515,210
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,227	2,945
為替換算調整勘定	△482,503	△346,239
評価・換算差額等合計	△480,275	△343,293
新株予約権	49,213	30,047
純資産合計	4,408,485	5,201,963
負債純資産合計	8,545,148	10,192,458

(2) 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
売上高	11,247,621	10,243,466
売上原価	10,219,593	9,567,405
売上総利益	1,028,027	676,061
販売費及び一般管理費	973,566	819,883
営業利益又は営業損失(△)	54,461	△143,822
営業外収益		
受取利息	336	52
為替差益	110,168	—
設備賃貸料	—	8,173
その他	24,668	21,475
営業外収益合計	135,173	29,701
営業外費用		
支払利息	41,882	36,332
株式交付費	2,702	—
為替差損	—	43,344
その他	8,142	408
営業外費用合計	52,726	80,085
経常利益又は経常損失(△)	136,908	△194,206
特別利益		
訴訟和解金	30,671	—
受取保険金	8,377	9,013
特別利益合計	39,049	9,013
特別損失		
固定資産除却損	19,387	11,335
減損損失	—	11,519
事業整理損	—	179,325
たな卸資産評価損	—	10,479
店舗閉鎖損失	22,998	36,484
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	2,896
特別損失合計	42,386	252,040
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	133,571	△437,233
法人税、住民税及び事業税	65,936	15,047
法人税等調整額	54,715	223,364
法人税等合計	120,651	238,411
四半期純利益又は四半期純損失(△)	12,920	△675,645

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	133,571	△437,233
減価償却費	469,661	392,866
固定資産除却損	20,820	11,661
減損損失	—	11,519
事業整理損	—	177,324
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	—	2,896
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△2,539	△4,233
受取利息及び受取配当金	△432	△167
支払利息	41,882	36,332
為替差損益(△は益)	△110,168	43,344
株式交付費	2,702	—
売上債権の増減額(△は増加)	97,136	86,596
たな卸資産の増減額(△は増加)	23,465	40,427
仕入債務の増減額(△は減少)	△12,196	△130,422
その他	△182,522	△35,949
小計	481,379	194,961
利息及び配当金の受取額	432	167
利息の支払額	△43,874	△38,121
法人税等の支払額	△173,993	△64,144
営業活動によるキャッシュ・フロー	263,944	92,862
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△620,176	△10,000
定期預金の払戻による収入	920,877	60,007
有形固定資産の取得による支出	△383,454	△37,831
事業譲渡による収入	—	131,621
差入保証金の差入による支出	△3,180	—
差入保証金の回収による収入	3,375	44,860
その他	△15,834	290
投資活動によるキャッシュ・フロー	△98,393	188,948
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△210,000	98,000
長期借入れによる収入	469,000	208,166
長期借入金の返済による支出	△1,010,602	△896,319
リース債務の返済による支出	△219	△4,020
株式の発行による収入	497,301	—
自己株式の取得による支出	△37	△17
配当金の支払額	△30,948	△144
財務活動によるキャッシュ・フロー	△285,507	△594,335
現金及び現金同等物に係る換算差額	233	△2,539
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△119,722	△315,063
現金及び現金同等物の期首残高	519,905	592,424
現金及び現金同等物の四半期末残高	400,183	277,361

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)

事業の種類別セグメント情報は、すべての事業がレストラン経営を主とする飲食事業であるため記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)

事業の種類別セグメント情報は、すべての事業がレストラン経営を主とする飲食事業であるため記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。